

げんきっこ新在家の活動について

げんきっこ新在家プロジェクト
(執筆者 柏木宏斗)

1. 団体概要

げんきっこ新在家プロジェクトは、2004年10月に「大学生がつくる地域の子育てコミュニティげんきっこ新在家」の運営を開始し、16年目を迎える学生団体です。現在、11名の学生が所属しています。



図1：ハロウィンとクリスマス会で着ぐるみを着て子どもと触れ合う学生の様子

2. 活動紹介

げんきっこ新在家は、地域の親と子が安心して集える場所として、毎週火曜日と木曜日（8・9・2・3月は火曜日のみ）の10時30分から12時00分の間、大学内の遊戯室と園庭を開放しています。環境人間学部のキャンパスには元付属幼稚園の施設が残っており、子どもが過ごすのに適した環境となっています。特に中庭は、天然の芝生が生え、自然に触れ合いながら遊べるため、季節を問わず子どもたちが走りまわっています。



図2：イチョウの落ち葉で遊ぶ子どもたちの様子

平日の活動はおもに自由遊びで、参加者と学生が交流しながらのんびりと過ごしています。活動における学生の主な役割は、安全に過ごすための場の環境づくりと、おかえり前の手遊び&絵本の読み聞かせです。活動を始めた2004年から16年間変わらず受け継いでいる思いは、「地域の方々が、ぶら〜っと来てぶら〜っと帰る。そんな気軽に立ち寄れる井戸端会議みたいな場になれば…」というものです。

3. 2019年度の活動紹介

活動日数は平日が82日、土日開催の季節のイベントが3日で、参加した親子は、平均7組（16人）／回程度でした。ここでは、平日のイベントを2つ、季節のイベントを1つ紹介します。

①毎月第3火曜日「朗読ボランティア えりの会」

シニア世代のボランティアによる紙芝居や歌、ピアノ、手品など。げんきっこ新在家は、学生、親、子、シニアの4世代が交流する場にもなっています。

②6月4日（火）「おもちゃの広場」

今年度初めて開催。おもちゃコンサルタントが東京おもちゃ美術館からたくさんの珍しいおもちゃを持って来てくれて、親子に質の良いおもちゃで遊ぶ機会を提供することができました。



図3：おもちゃの広場の様子

③7月7日（日）「たなばた会」

今年度のたなばた会は、学生サークル弾き語り同好会の学生に出演してもらい、学生にとっても参加者にとっても貴重な触れ合いの機会となりました。



図4：たなばた会の様子

4. まとめ

これからもこの場所が、大学生がつくる地域の子育てコミュニティとして機能し、かかわる全ての人々がエンパワーメントされる場であり続けられるように、活動を続けていきたいと思ひます。